

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	営繕事務				所管	総務部	
						施設課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)		
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度
		[小 柱]					
		[施 策]					
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区役所組織規則、台東区工事施行規程			
	事業対象	一般区民					
	事業目的	関係法令の遵守・省エネや経済性・環境負荷の低減に配慮しつつ施設の整備を推進し、一般区民が安心かつ安全に利用できるようにする。					
	事業内容	<p>(1) 施設の建築計画に関する検討及び技術的な支援を行う。</p> <p>(2) 新增改築、改修及び修繕工事等の設計・施工監理を行う。</p> <p>(3) 上記に伴う事務的な管理業務を行う。</p>					
委託の有無	一部委託	委託内容	保全システム保守委託				
補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	区有施設の工事及び設計等の起案件数	件	130	124	138	132
		成果指標	省エネ設備によるCO2発生抑制 (電力、都市ガスによる削減)	kg/年	71,000	45,910	57,700
	決算額 (単位：千円)				3,350	6,757	4,234
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			132,465	63,307	129,779
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,229	6,699	4,134
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			122	58	101
		総経費			135,816	70,064	134,014
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0
一般財源 (区負担額)			135,816	70,064	134,014		
前回評価から改善した事項	予算見積回答の期限を2段階にし見積もり期間を長くする等、職員の負担軽減を図った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	公共施設は、設備機器の仕様等を一定の水準以上に確保する必要があるため、技術系職員が係わる本事業は必要である。また、委託等の場合、民間施設とは異なった観点での整備が必要となるため、技術系職員の関与が必要となる。				
	効率性	3	設計図が電子化(CAD)されストックされているので、過去に作成した図面を利用することで図面作成に係る手間を効率化している。				
	手段の適切性	3	工事の内容や規模によって設計・工事監理を区職員による場合と委託による場合を使い分け、現在の執行体制を踏まえて適切な手段を選択している。				
目的達成度	3	建設から一定程度経過した施設が多くなり、老朽による不具合が増加する傾向にあるため、迅速かつ適切に対応して施設の運営に支障が生じないようにしている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	維持	
区有施設全体の老朽化の進行に対して、保全計画に基づく改修・改築等を着実に実施することにより、今後も施設の安全性及び機能の確保、また、環境負荷の低減を図っていく必要がある。					拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		